



全国での躍動誓う

全国大会への出場を決めたかっ子の激励会を3月17日と24日に行いました。

岐阜聖徳学園高等学校 男子バレーボール部

第27回全国私立高等学校男女バレーボール選手権大会に出場

「コロナ禍でも試合ができることに感謝。1勝でも多くできるよう全力で頑張りたい」

プラス CHEER+

USA The PEAK (選抜クラブチーム大会)、USA All Star Nationals (全国選手権大会)に出場

「たくさんの人に支えられて全国に行ける。感謝の気持ちを忘れずに、胸を張って帰ってこられるよう頑張りたい」



榎原りりすさん(大会出場時は桜ヶ丘小4年)

第44回全国JOCジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会(女子50メートル平泳ぎ)に出場

「2回目の全国大会。前は緊張してベストを出せなかったけど、今回はベストを出して決勝に進みたい」

自分も相手も大切にできる子に

3月16日、市職員が久々利保育園の年長児13人に、幼児期から自分の体を知り、守る気持ちを育てる「いのちのふれ愛教育」講座を行いました。講座では、体には人に見せない・触らせない大切な場所(プライベートゾーン)があること、自分の命の重み、不審者から身を守る術について話しました。

参加した園児は「プライベートゾーンを大事にしたい」「怖い人に声を掛けられたら、嫌、やめてと言うようにする」と話していました。



会議で発言する委員

誰もが暮らしやすいまちへ

3月21日、外国籍市民との情報共有や意見収集の場として、第1回可児市外国籍市民会議を行いました。

中国やフィリピン、ブラジル国籍の7人が委員となり、この日、初めて行われた会議では「病院や歯科医院などでも通訳が必要。子どもだけでなく、親への日本語学習支援があると良い」など、普段の生活で抱えている困り事などの意見がありました。

今後も意見交換を行い、市の業務や多文化共生に向けた取り組みに反映していきます。